

〔Ⅰ〕 古代ギリシアに関する次の文章を読み、1 ～ 10 の問いに答えなさい。答えは解答欄にマークしなさい。

古代ギリシアのポリスのひとつであったスパルタは、陸軍国としても知られる。このポリスでは、比較的少数の市民が、征服した先住民を 1 として支配した。こうした体制は、前6世紀半ばまでにできあがったリュクルゴスの国制によって支えられた。

これに対し、⁽²⁾3 人のポリスであったアテネでは、民主政が発達したとされる。ここでは、前7世紀から貴族と平民との対立が激化したが、前6世紀になると、ソロンが貴族と平民の調停者となっ⁽⁴⁾て改革をおこなった。その後、非合法な手段で政治的実権を掌握した僭主があらわれるようになったが、民主政の基礎を築いたとされる 5 によって陶片追放（オストラキスモス）の制度が定められた。

前5世紀はじめには、アケメネス（アカイメネス）朝ペルシアの支配下にあった 6 を中心とするギリシア人ポリスが反乱を起こした。これをひとつの契機としてペルシア戦争がはじまった。前490年には 7 が遠征軍を送ったが、アテネを中心としたギリシア側は、これを打ち破った。前480年にもペルシアの軍勢が襲来したが、ギリシアの連合軍は 8 でこれに勝利した。

一方、スパルタでは高度な芸術などは生まれなかったとされるが、前5世紀のアテネでは、たとえば 9 に代表される喜劇作家なども登場した。また、パルテノン神殿のアテナ女神像を制作した 10 なども彫刻家として名高い。

1 空欄 1 に当てはまる最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|----------------|--------|
| ① スパルティアタイ | ② パトリキ |
| ③ ヘイロータイ（ヘロット） | ④ ヘレネス |

2 下線部（2）について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 軍隊の指揮官でもあった2名の王が、長老たちとともに民会にかけける議案を先議した。
- ② 血縁による10部族制を基礎としたデーモス（区）がおかれた。
- ③ 公職を経験した市民によって構成された元老院が、政治や軍事を統括する2名の執政官（コンスル）を選出した。
- ④ 地中海全域で交易活動をおこなって、フェニキア人とも同盟関係を結んだ。

3 空欄 3 に当てはまる最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|---------|--------|
| ① アイオリス | ② アムル |
| ③ イオニア | ④ ドーリア |

4 下線部（4）について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 十二表法を制定して、重装歩兵としての平民の政治的・経済的権利を拡大した。
- ② 身体を抵当とする借財を禁止し、平民を、その財産額に応じて政治や軍事に参加させた。
- ③ 世襲の農地（クレーロス）を持つ上層の平民を旧来の貴族と結びつけて、新たな支配層（ノビレス）を構成させた。
- ④ その人のもつ財産の多寡が重視された一方で、負債については帳消しにされることはなかった。

5 空欄 5 に当てはまる最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|-----------|------------|
| ① アイスキュロス | ② クレイステネス |
| ③ テミストクレス | ④ ペイシストラトス |

6 空欄 6 に当てはまる最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|---------|---------|
| ① オリンピア | ② デルフォイ |
| ③ ミケーネ | ④ ミレトス |

7 空欄 7 に当てはまる最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|------------|------------|
| ① アルダシール1世 | ② クセルクセス1世 |
| ③ シャープール1世 | ④ ダレイオス1世 |

8 空欄 8 に当てはまる最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|------------|----------------------|
| ① マラトンの戦い | ② サラミスの海戦 |
| ③ プラタイアの戦い | ④ テルモピレー（テルモピュライ）の戦い |

9 空欄 9 に当てはまる最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|------------|----------|
| ① アリストファネス | ② エウリピデス |
| ③ ソフォクレス | ④ ホメロス |

10 空欄 10 に当てはまる最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① エウクレイデス | ② ヒッポクラテス |
| ③ フェイディアス | ④ ポリュビオス |

〔II〕 隋唐時代の中国とその近隣諸国に関する下の 11 ～ 20 の a・b の文を読み、正誤の判断として正しいものを、次の ①～④の中から一つ選びなさい。答えは解答欄にマークしなさい。

- | | |
|-------------|------------|
| ① aのみが正しい | ② bのみが正しい |
| ③ a・bともに正しい | ④ a・bともに誤り |

- 11 a 隋を建てた楊堅（文帝）は、学科試験で官吏を選ぶ科挙をはじめた。
b 唐を建てた李淵（高祖）は、隋の都大興城を長安と改めて唐の都とした。
- 12 a 高宗の皇后であった則天武后（武則天）は、のちに皇帝となり、国号を周と改めた。
b 開元の治をおこなった李世民（太宗）は、遊牧諸民族から「天可汗」の称号を贈られた。
- 13 a 唐の税制は、780年に、現住地で所有している資産に応じて課税する兩税法に切り替えられた。
b 唐の兵制は、当初は徴兵による府兵制であったが、のちに傭兵による募兵制に切り替えられた。
- 14 a 唐の中央官制では、六部が行政の監察をおこなった。
b 唐の地方行政では、一貫して国内を郡・県にわけて官僚を派遣する郡県制をおこなった。
- 15 a 節度使の安祿山は、楊貴妃一族の専横に反発して反乱をおこし、唐を危機に陥れた。
b 節度使の黄巢は、汴州（開封）を拠点に、唐の帝位を奪って後梁を建てた。
- 16 a 唐代には、喫茶の習慣が庶民にまで普及した。
b 唐代には、南海交易が盛んになり、広州には市舶司がおかれた。
- 17 a 唐代には、王重陽が全真教をおこした。
b 唐代には、法顕や義浄がインドにおもむき、仏典の漢訳と教理の研究が進んだ。
- 18 a 突厥の支配者層は、マニ教を受容して国教とした。
b ソグド文字は、ウイグル文字のもととなった。
- 19 a 唐代には、王羲之によって個性的な書法が追求された。
b 唐代には、訓詁学が重視され、董仲舒により『五経正義』が編纂された。
- 20 a 朝鮮半島では、渤海が百済・高句麗を滅ぼして朝鮮半島の大部分を支配した。
b チベットでは、ソンツェン＝ガンボが吐蕃を建て、インド・中国の両文化が導入された。

〔III〕 次のA～Dは、中南米の先住民文明と大航海時代に関する a～d の短文から構成されている。各短文を読み 21 ～ 30 の問いに答えなさい。答えは解答欄にマークしなさい。

- A a 1545年に、現在のボリビアにあたる地域でポトシ銀山が発見される。
b アステカ王国が滅びる。
c インカ帝国が滅びる。
(21)
d マヤ文明がおこる。

- 21 下線部（21）について述べた文として正しいものを、次の ①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 15世紀から南米アンデスの高地都市クスコを中心に栄えた。
② コルテスによって都が征服され、帝国は滅んだ。
③ ユカタン半島にあるマチュ＝ピチュ遺跡は、神殿・水路などが整然と配置されていた。
④ 帝国ではエンコミエンダ制が実施されていたが、征服者によって廃止された。

- 22 上のAの a～d の短文の出来事を、左から古い順に並べるとどのような順序になるか、次の ①～⑥の中から一つ選びなさい。
- ① d → a → c → b ② d → c → a → b ③ d → b → a → c
④ d → a → b → c ⑤ d → b → c → a ⑥ d → c → b → a

- B a コロンブスがカリブ海の島にはじめて到着する。
(23)
b バルボアがパナマ地峡をはじめて横断する。
c バルトロメウ＝ディアスが喜望峰に到達する。
d ヴァスコ＝ダ＝ガマがインド西岸の 24 にはじめて到着する。

- 23 下線部（23）に関連する文として正しいものを、次の ①～④の中から一つ選びなさい。
- ① ヴェネツィアに生まれたコロンブスは、地理学者のトスカネリの地球球体説を信じていた。
② ポルトガル王ジョアン2世の支援があった。
③ このとき到着したところは、カリブ海のマルク（モルッカ）諸島であった。
④ コロンブスはその後も航海を重ね、発見した地を最後までインディアス（アジア）と信じていた。

- 24 空欄 24 に当てはまる最も適切なところを、次の ①～④の中から一つ選びなさい。
- ① ポンディシェリ ② カリカット ③ マドラス ④ カルカッタ（コルカタ）

25 前ページのBのa～dの短文の出来事を、左から古い順に並べるとどのような順序になるか、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。

- ① b → a → c → d ② b → c → a → d ③ c → a → d → b
④ c → d → a → b ⑤ d → b → c → a ⑥ d → c → b → a

- C a 26 人のカブラルがブラジルに漂着した。
b トルデシャス条約が結ばれる。
c ポルトガル人が種子島に到達した。
d ポルトガル人のマゼラン（マガリャンイス）がアジア航路を発見するための航海に出発した。
(27)

26 空欄 26 に当てはまる最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① スペイン ② フランス ③ ポルトガル ④ イギリス

27 下線部（27）に関連する文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① この航海はスペイン王の援助でおこなわれた。
② アフリカ南端から、インド洋を経て太平洋、さらにアメリカ南端を回って帰国し、この航海で、地球が球体であることが証明された。
③ マゼラン（マガリャンイス）は、この航海終了後、まもなく死去した。
④ この航海に出発した年には、ナスル朝のグラナダが陥落した。

28 上のCのa～dの短文の出来事を、左から古い順に並べるとどのような順序になるか、次の

- ①～⑥の中から一つ選びなさい。
① b → a → c → d ② b → a → d → c ③ c → b → a → d
④ c → a → b → d ⑤ d → b → c → a ⑥ d → c → b → a

- D a 清朝でキリスト教の布教が全面的に禁じられる。
b ブーヴェが康熙帝に仕える。
(29)
c 江戸幕府がポルトガル人の来航を禁じる。
d フランシスコ=シャヴィエル（ザビエル）が日本にキリスト教をはじめて伝える。

29 下線部（29）に関連する文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① スペイン出身のドミニコ会の会員であった彼は、スペイン国王に『康熙帝伝』をささげた。
② 徐光啓とともに『崇禎曆書』の編纂をおこなった。
③ 当時の中国全土の実測図『皇輿全覧図』を作成した。
④ 宮廷画家として仕えて西洋画法を紹介し、また『幾何原本』をあらわした。

30 上のDのa～dの短文の出来事を、左から古い順に並べるとどのような順序になるか、次の

- ①～⑥の中から一つ選びなさい。
① b → a → c → d ② b → a → d → c ③ c → b → a → d
④ c → a → b → d ⑤ d → b → c → a ⑥ d → c → b → a

〔IV〕 朝鮮を中心とした東アジア世界の歴史に関する次の略年表を見て、下の問1・問2に答えなさい。
答えは解答欄にマークしなさい。

略年表

西 暦	出 来 事
1863 年	① 高宗が朝鮮国王に即位し、大院君が摂政となる。 (36)
1876 年	② 日朝修好条規が締結される。
1882 年	③ 壬午軍乱がおこる。
1884 年	④ 甲申政変がおこる。 (37)
1894 年	⑤ 38 らによって甲午農民戦争（東学の乱）がおこされる。
1895 年	⑥ 下関条約が結ばれて朝鮮の完全独立が認められる。
1897 年	⑦ 高宗が国号を大韓帝国とあらため、皇帝の地位につく。
1904 年	⑧ 朝鮮と満洲をめぐる対立から日露戦争が勃発する。 (39)
1910 年	⑨ 日本が韓国を併合する。 (40) ⑩

問1 次の 31 ～ 35 の出来事がおこった時期は、略年表の中の①～⑩のいずれに該当するか、それぞれ①～⑩の中から一つずつ選びなさい。なお、同じ番号を2度以上選んでもよい。

31 ハーグ密使事件がおこる。

32 日清戦争が勃発する。

33 三・一独立運動がおこる。

34 ポーツマス条約が結ばれる。

35 江華島事件がおこる。

問2 略年表中の下線部および空欄に関する次の 36 ～ 40 の問いに答えなさい。

36 下線部（36）について述べた文として誤っているものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。
すべてが正しい場合は、⑩をマークしなさい。

- ① この人物は、高宗の実父である。
- ② この人物は、欧米諸国が開国を迫ったのに対し、攘夷につとめて鎖国政策をとった。
- ③ この人物は、日本と王妃閔氏一族の支援を得て壬午軍乱に乗じて復権を目指したが、清軍の介入によって失敗した。

37 下線部（37）について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① この政変は、開化派（急進改革派）が日本の支援を得て、王妃一族である閔氏政権の打倒を目指したものであった。
- ② この政変は、開化派（急進改革派）が清の支援を得て、朝鮮からの日本軍の排除を目指したものであった。
- ③ この政変は、王妃一族である閔氏が、日本の支援を得て、清と結んだ開化派（急進改革派）の打倒を目指したものであった。
- ④ この政変は、王妃一族である閔氏が、清の支援を得て、朝鮮からの日本軍の排除を目指したものであった。

38 空欄 38 に当てはまる最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 崔濟愚 ② 金玉均 ③ 全瑋準 ④ 安重根

39 下線部（39）について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① この戦争では、財政面でドイツとフランスが日本を支援した。
- ② この戦争では、財政面でオーストリアとイタリアが日本を支援した。
- ③ この戦争では、財政面でフランスとオーストリアが日本を支援した。
- ④ この戦争では、財政面でイギリスとアメリカが日本を支援した。

40 下線部（40）について述べた文として正しいものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。
すべてが誤っている場合は、⑩をマークしなさい。

- ① これを契機として、伊藤博文がハルビンで朝鮮の独立運動家により射殺された。
- ② これを契機として、日本は朝鮮統治の中枢機関として朝鮮総督府を設置した。
- ③ これを口実として、日本は大韓帝国皇帝の高宗を強制的に退位させた。